

20桑地第305号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

桑折町長 林王 喜久男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありましたことについて、別紙のとおりに提出します。

（事務担当 地域整備課 電話 024-582-2127）

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

福島県桑折町

- ・ 国道の整備計画は国づくりの根幹であることから「全総」をはじめ、上位計画の実現に向けた計画を策定し、広く国民に周知すべきである。

○現状

・本町の広域的幹線道路は、南北方向の大動脈である東北自動車道及び一般国道４号や、東西方向では一般県道飯坂桑折線や一般県道保原伊達崎桑折線などがあります。

一方、生活関連道路の町道は、平成16年４月１日現在、実延長距離が約２９７kmで、改良率が４７．７％、舗装率が５０．６％と近隣市町と比べても低い状況にあり、また、都市計画道路は、一般国道４号、一般県道国見福島線や一般県道飯坂桑折線を含む７路線（延長８．９５km）がありますが、整備率３３．３％と近隣市町と比べても低い状況にあり、国県道の整備充実が求められています。

○課題

・モータリゼーションの進展に伴う交通量の増大等から、一部で渋滞や道路機能の低下が見られる中で、一南北骨格軸である一般国道４号の拡幅など、機能強化を進めるとともに、関係機関との調整を図りながら、幹線道路と生活道路との機能分担を明確にする必要があります。特に、ＪＲ東北本線とＪＲ東北新幹線で分断されている、町の中心市街地とＪＲ東北本線西側を連絡する関連道路の整備が重要な課題となっています

また、広域的幹線道路網の充実や利便性の高い生活関連道路の整備など、安全で円滑な道路交通網の整備を着実に進めていくことが求められている

一般県道国見福島線（旧奥州街道）は、安心して歩ける歩車共存の空間として整備することについて、関係機関との調整、検討を進め、良好な町並み景観を創出していくことが求められている。

また、道路ストックが急速に高齢化してきて、予算や職員など益々厳しくなる中で、増大する道路管理を適切に管理できなくなる恐れがあります。

- ・ 桑折の風土や自然、先人たちが築いてきた歴史・文化・地域資源を貴重な資産と考え、それらを活かすため町民と地域、町が「まちづくりの担い手」としての役割を発揮することで、コンパクトな生活圏として、小さな町だからこそできる「地域に根ざした個性豊かな活力のあるまち、いつまでも輝き続けるまち・こおり」をみんなの心と力を合わせて目指しています。町に暮らしている住人が豊かに楽しくそして快適に生活し、更に来訪者をもてなすことで、「こんなまちに住んでみたいな!」と思えるまちづくりを目指しています。

【道路行政の目標】

地域産業等を活かす広域ネットワーク形成と地域の実情に応じた身近な生活道路の環境向上
(生活環境向上、高齢化への対処、人と環境にやさしい交通、観光産業にも寄与)

【幹線道路の機能強化】

- ・ 南北骨格軸である一般国道４号の拡幅など機能強化を進めるとともに、関係機関との調整を図りながら、幹線道路と生活道路との機能分担を明確にしていきます。
- ・ 一般県道国見福島線(旧奥州街道)は、安心して歩ける歩車共存の空間として整備することについて、関係機関との調整、検討を進め、良好な町並み景観を創出していきます。
- ・ 福島市の観光拠点である飯坂温泉地区や伊達市との連携を強化するため、東西軸である一般県道飯坂桑折線や一般県道保原伊適崎桑折線等の整備、歩車分離などの安全対策について、関係機関との調整を進めていきます。
- ・ 一般国道４号の利用者の休憩施設、地域との情報交流の機能や連携機能、そして広域防災機能も有する道の駅の整備について検討していきます。
- ・ 産業活性化や生活利便性向上のため、福島市との連携を強化するための交通ネットワークの形成について、関係機関と調整を図りながら検討を進めていきます。
- ・ その他の周辺市町との広域連携を図っていくためのネットワーク強化についても、周辺市町と調整を図りながら検討を進めていきます。

【道路の歩行環境の向上と公共交通の拡充】

- ・ 中心市街地の道路環境の向上を図り、歩いて暮らせるまちづくりを推進していきます。道路環境の高質化(電線類地中化、道路緑化、休憩空間の整備など)やユニバーサルデザイン化についても関係機関と協働で進めていきます。
- ・ J R 桑折駅前駐車場については、福島市等への通勤や買い物に利用できるパーク＆ライド用駐車場として、更なる拡充を図っていきます。
- ・ 買い物やイベント参加を目的としてまちなかを訪れる人々が気軽に利用できる駐車場を幹線道路沿いなどに配置し、まちなかへの自動車交通の侵入を抑制などを検討していきます。
- ・ 現行路線の強化に加え、都市間を結ぶ広域バス路線、乗り合い小型バス、乗り合いタクシー等の導入について、周辺市町との連携も含め積極的に検討していきます。
- ・ 高齢者の移動を円滑化するため、路線バスやコミュニティバスの運行、中心市街地でのタウンモビリティの導入について積極的に検討を進めていきます。

【集落の生活環境改善のための対策】

- ・ 集落が散在する地域において、生活環境の向上や防災などの観点から、各集落の特性を勘案しながら、集落間を連携したり、幹線道路へアクセスできる道路の整備、改良を行っていきます。
- ・ 歩車分離が図られていない生活道路、集落内の狭大な道路などの問題もみられることから、都市防災、交通安全の観点から歩道確保、歩車共存道路などを検討していきます。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

福島県桑折町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
	・ 埼玉県川越市のようなイメージ	・ 歴史的奥州街道の道路空間再構築による歩車共存道路化などの歩きやすい歩行環境の整備 ・ 安心して子育てのできる歩行空間ネットワークの形成 ・ 歴史的街道の道路空間利用による地域コミュニティと地域アイデンティティの構築 ・ 歴史的街道の顕彰、顕在化による地域の持続性	